

# *Disaster Prevention & Community*



## 瑞穂市牛牧北部防災コミュニティセンター



# くらしの中に安心とふれあいを… 私たちの防災・交流拠点です。

この施設は、最近では「阪神・淡路大震災」、古くは昭和51年にこの地域をも襲った「9.12水害」を教訓に、非常時における拠点施設とし、地域の皆さんに防災活動や防災啓発の拠点に、非常時における避難所・防災備蓄機能を持たせた拠点施設として活用していただくために設置されました。

建物は集会室棟と倉庫棟の2棟。木目を随所に活かした作りの集会室棟には、照明音響装置を備えた集会室、各種セミナーや会合などに使用できる会議室・展示室、炊き出しができる調理室などがあります。また、倉庫棟には防災備蓄倉庫を兼ねた全天候型の訓練場、消防団詰所、消防車庫を配置してあります。そのほか、地下水を井戸でくみ上げ、地下に貯水し火災の際には緊急水利として使用できる耐震性地下貯水槽、緊急時のための自家発電装置など、目に見えないところにもさまざまな防災機能が備わっています。

地震などの非常時には現地対策本部・避難所として機能することはもちろん、普段は地域のみさんの防災研修・訓練や、ふれあいと交流の場としても幅広くご利用いただけます。



④ 採水口

集会室の下には、火災時に利用できるよう200m<sup>2</sup>耐震性地下貯水槽が設置されています。

① 深さ50mの井戸。耐震性地下貯水槽への給水と非常用の飲料水を確保します。



② 20畳の広さの研修室は、畳の感触と障子越しの光がやすらぎを与えてくれます。



③ 会議室・展示室も可動間仕切りによって2室に分割できます。



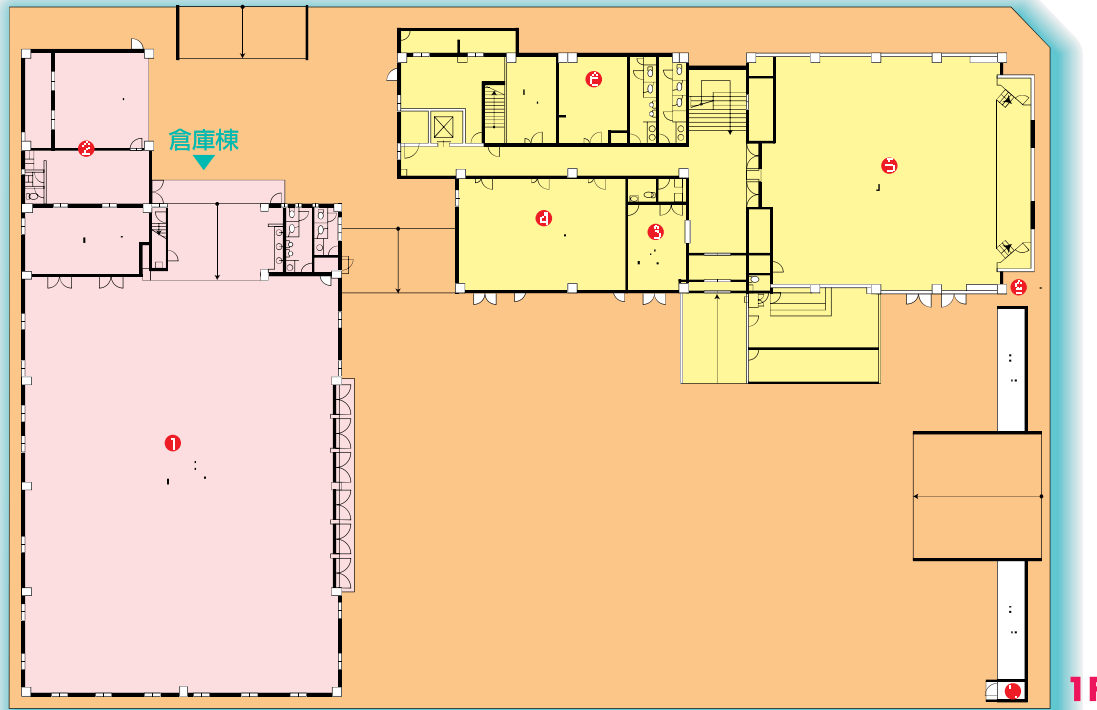
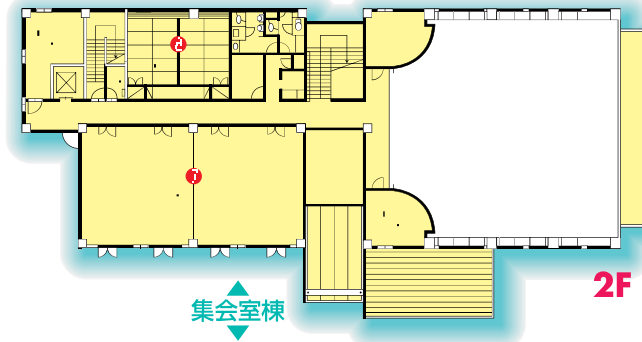
⑤ 非常時の炊き出しなどができる調理室



⑥ ステージ：照明・音響設備を備えた集会室はさまざまな利用が可能です。



④ 非常時用の現地対策本部（サブ指令センター）は可動間仕切りによって2室に分割できます。



① 人工芝と砂を敷きつめた雨天時訓練場は22m×30mの広さです。



② 消防車が2台待機する瑞穂市消防団第3分団詰所



③ 事務室・情報連絡室は非常時の情報収集・発信基地となり、電源も自家発電装置によって確保されています。

**【施設概要】**

- 開 所 平成9年4月1日
- 施設の規模
  - ・敷地面積 3,773.12m<sup>2</sup>
  - ・規模及び構造
    - 集会室棟 鉄筋コンクリート造 地上2階建
    - 倉庫棟 鉄筋コンクリート造 地上1階建
  - 建築面積 1,644.92m<sup>2</sup>
  - 延床面積 1,985.25m<sup>2</sup>
- 総事業費 724,860千円
  - 用地取得費 252,088千円
  - 工事費 444,066千円
  - 設計監理費 20,600千円
  - 事務費 3,139千円
  - その他 4,967千円
- 建設費財源内訳
  - ・国土庁地域防災拠点施設整備モデル事業費補助金 180,000千円
  - ・一般財源 544,860千円

**【利用料金】**

部屋名		9:00～12:30	13:00～17:00	18:00～21:30	全日
集会室等	集会室	3,300	3,700	5,600	12,600
	調理室	1,000	1,200	1,700	3,900
	会議室・展示室	2,000	2,300	3,500	7,800
	研修室	1,000	1,200	1,800	4,000
倉庫棟	雨天訓練場	1,000	1,200	1,800	4,000

平成24年10月1日から冷暖房の加算は無くなります。

*Disaster Prevention  
&  
Community*



**瑞穂市牛牧北部防災コミュニティセンター**

岐阜県瑞穂市十九条413番地1  
TEL.058-329-0147 FAX.058-329-0148